

「苗名小屋」落成式の写真(1968年10月27日(日))



当時では貴重なカラー写真:落成式前の「苗名小屋」全景



落成式前の「苗名小屋」全景:唐松が今ほど目立っていない

山小屋落成式顛末記

11期・高橋

妙高に山小屋が建つと聞いたのは2年にもなってからだった。妙高がどこにあるのかも分からず、落成式の案内には長野県中頸城郡と書いてしまった。秋も深まり、完成も間近になって落成式の計画を2年が立てる事になった。案内状、記念品などは横浜で用意できた。印刷屋に案内状を頼んだり、伊勢崎町の野沢屋で灰皿に「横浜国立大学ワンダーフォーゲル部山小屋落成記念」と文字を書いてもらったりした。あとで五八木荘に誇らしげに置かれているのを見てうれしかった。また出来るだけ多勢出席できるように団体割引を手配した。学生団体は5割引きで、他の学割の消化数には入らないので行こうという気になった人が多かった。しかし最低50名で同一年行動を取る必要があった。後で、なかなか代金を払わないものをなだめすかすのも大変だった。現地では、落成式のとき使う椅子や天幕また昼食に出す弁当や他の食事の準備などこまごましたことがあった。椅子は岡田氏が教育委員をしていたおかげで杉野沢の小学校の子供用の椅子を借りた。そのため、小さく座り心地は悪かったと思う。後で、返すとき椅子を洗ったり大変だった。弁当は妙高高原の駅弁の笹寿司を注文した。そのほかに、ビール、酒、おでんなども準備した。式の最中、炊き出しの煙がただよって苦情がでた。前日になって、妙高の町長や田中教授も来るということで、式次第などや進行は3年が取り仕切ることになった。



落成式前の情景



4期・郡司・小屋建設委員会委員長の挨拶



落成式で式辞を神妙に聞く参列者、後列で立って聞いているのは勿論下級生



玉串奉納する1期・嘉納氏



祝辞を述べる田中・横浜国大教授・ワンゲル部部長



10期・伊藤・現役主将



1期・松本・OB会長



土地提供者の岡田悟氏



妙高高原町町長



「みはるかす」 斉唱



万歳三唱



参加者全員の記念集合写真（皆さん！！判りますか？40数年前の若き頃の貴方ご自身、貴女ご自身）



ワンドルのマドンナのお一人、7期・東田氏（現・菅谷氏）が出窓から微笑む